

事業者等向け 放課後等デイサービス自己評価表(令和3年3月)

		チェック項目	はい	いいえ	その他	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	利用人数や活動内容によってパーティションで分けている。 パーティションの利用・園庭・歩行等日々の活動を分け、活動が「十分」できている。引き続き工夫していきたい。
	②	職員の配置数は適切であるか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	職員配置数は十分満たされているが、職員の動きに偏りがみられることもあるので、改善していきたい。 10人に6~7人の職員がいるので手厚く細かく見ることができている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9/10 90%	0/10 0%	1/10 10%	段差がなく配慮されている。身障トイレの手すり等も使いやすい。
業務改善	④	業務改善うい進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	7/10 70%	0/10 0%	3/10 30%	
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	アンケートにあった要望等は職員で共有されている。必要なことはすぐに改善している。 保護者からの意見はその都度聞いている。アンケート調査も必ず職員は把握し、話し合い改善している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3/10 30%	7/10 70%	0/10 0%	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	今後も児童に対しての言葉かけや働きかけ等に常に念頭において、適切な支援に繋げていきたい。 昨年はコロナウイルス感染症拡大の為、ほとんど研修に参加できなかった。 ケース会議もできなかったため、本年度は行えると思う。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	保護者面談を通して課題を分析し計画書を作成している。 児童の状況・状態・課題・保護者の願い等を考慮し、詳細な療育計画を作成している。 利用希望時から保護者のニーズ等を聞き全職員に共有し、その後何度も分析して計画を立てている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7/10 70%	1/10 10%	2/10 20%	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9/10 90%	0/10 0%	1/10 10%	活動プログラムは主に常勤職員で立案しているが、非常勤職員も参加し、立案できるとさらによい。 日々の職員打合せにて活動プログラムを利用児に合わせて作成し、職員をチーム分けし活動している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	職員間でよく話し合っている。 児童の成長や資質をみて工夫している。 できることが増えていくので活動の内容が固定することはない。毎回1つでも新しいことにチャレンジしたり、クリア出来るように支援している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9/10 90%	0/10 0%	1/10 10%	午前・午後と療育プログラムを変えている。 活動時間・季節などその時にしかできないこともあるので、課題や内容を設定して支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	療育内容(手先・注視訓練等)でグループ編成を考えて計画・実施している 個々にあわせて小グループ・集団等に振り分けて毎日計画を組んでいる。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	ミーティングに時間をかけて、前日の活動についてや児童の様子・改善点・良かった点・反省点等を話し合っている。 また、当日の予定や活動内容・支援方法・注意点等細かく打合せてから支援にとりかかっている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	ヒヤリハットの報告も行っている。 報告事項が多いので、指導援助の改善点・方向性を話しあう時間をもっとあると良い。 支援終了後には連絡が必要な件のみ報告するが、それ以外は記録や連絡ノートに書いて翌日の打合せで行う
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	利用児一人ひとり、日々の活動・情緒・その日の様子・パニック・発作等記録している。 療育内容・保護者や学校からの話等も含め、毎回個人記録をつけている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9/10 90%	0/10 0%	1/10 10%	児童についての話し合いは常にしている。その中で必要であれば計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行なっているか	9/10 90%	0/10 0%	1/10 10%	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8/10 80%	1/10 10%	1/10 10%	会議がない。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	情報共有・連絡調整以外にも事業所や学校の見学にも参加している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0/10 0%	0/10 0%	10/10 100%	看護師不在のため、医療ケアの必要な児童は受け入れていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所の幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6/10 60%	2/10 20%	2/10 20%	どのような支援がなされていたか等連絡し確認している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4/10 40%	5/10 50%	1/10 10%	移行時も移行後も情報の提供には応じている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6/10 60%	2/10 20%	2/10 20%	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもとの活動する機会があるか	1/10 10%	8/10 80%	1/10 10%	公園では学区内の小学生と一緒に遊んだりすることもある。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2/10 20%	2/10 20%	6/10 60%	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	連絡帳はないが、毎日状況は口頭で伝えている。 児童の前で伝えられないことはあらかじめ電話で連絡している。 毎回必ずどのように過ごしたか等その日の状況は伝えている。その際、家庭での様子等も聞いている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行なっているか	8/10 80%	0/10 0%	2/10 20%		

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	保護者からの相談には時間をとっていつでも応じるようにしている。 卒業した児童等の相談にもいつでも応じている。 普段から保護者とは話すようにして信頼関係を大切にしている。
	③⑫	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8/10 80%	1/10 10%	1/10 10%	毎年開催しているが、保護者の参加は少ない。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9/10 90%	1/10 10%	0/10 0%	苦情を聞いたことがない
非常時等の対応	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6/10 60%	3/10 30%	1/10 10%	ブログが更新されていない。 一部分を切り取って発信するよりも、実際の活動を見てほしい。アポなしで見に来もらってもかまいません。
	③⑮	個人情報に十分に注意しているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	常に意識している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っているか	9/10 90%	0/10 0%	1/10 10%	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3/10 30%	3/10 30%	4/10 40%	地域の方からの招待があり、参加させていただいている。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8/10 80%	2/10 20%	0/10 0%	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9/10 90%	0/10 0%	1/10 10%	火災や地震を想定し、年に2回は必ず行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	虐待とはどういうものをいうのか職員全体で再確認したい。(身体的・心理的) 権利擁護研修には一人1回は参加するようにし、後日研修報告も行う。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8/10 80%	0/10 0%	2/10 20%	身体拘束はしていない。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対処がされているか	5/10 50%	1/10 10%	4//10 50%	保護者より指示書を受け取っている。 重度アレルギーの児童は現在いない。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10/10 100%	0/10 0%	0/10 0%	ヒヤリハットの意識が低くなっているのか提出が少ない。皆が共通理解できるよう報告だけでなく書類を回覧するとよい。合わせて個人情報に注意している。 ヒヤリハット事例はその日のうちの報告し、全職員で共有し、対策も考えている。

* 実施期間
* 実施責任者

令和3年2月20日から令和3年3月10日
管理者・児童発達支援管理責任者